社会福祉法人　ひまわり　広報部発行
0978-52-2233
杵築市　ひまわり　検索
http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念

・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針

・利用者のあるがままの姿を受入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
・社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良い態度で接します
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

オープニングの「山香こども太鼓」の演奏

夏の終わりを飾る…

瑞雲荘 供養盆踊り

8月23日、瑞雲荘の供養盆踊り大会が行われました。午後から勢いよく降り出した雨に、中止になってしまうのでは？と心配しましたが、その雨も職員や利用者様の願いが通じたのかすぐに止み、無事に盆踊りを行う事が出来ました。辺りが薄暗くなり、吊り下げられた盆提灯に明かりが灯ると、さらに雰囲気が出て、気分が盛り上がりました。

次第に盆踊りを楽しみに来られる方々も来場され、利用者様も全員会場へと向かわれました。皆さんわくわくしている様子で、とてもいい笑顔をされておりました。

まず、〝山香こども太鼓〟の皆さんによる迫力ある太鼓と踊りが披露され、あまりの見事さに利用者様、来て下さったお客様だけでなく、スタッフまで目を奪われてしまいました。利用者様は「すごかった。抱きつこうごとあったがえ」「感激した」等など大絶賛。

その後、揃いの浴衣や法被を着たひまわり職員が輪を作って盆踊りが始まり、皆さん楽しそうに手拍子しながら見ておられました。

去年に引き続き、天候に悩まされましたが無事に開催することができました。足元が悪かったにもかかわらず来場下さったみなさま、ありがとうございました。準備で大忙しだった職員さん、見事な踊りを見せてくれた職員さん、山香こども太鼓の皆さんお疲れ様でした。

演奏を見つめる利用者様

毎月二〇日発行　編集責任者　社会福祉法人ひまわり　藤本晴夫

夕涼み会（大田保育園）に参加しました！

8月30日　瑞雲荘

瑞雲荘の近くにある大田保育園さんの〝夕涼み会〟に利用者様も参加させていただきました。

普段から園児の皆さんに発表会などの行事の際には施設の方へ来ていただいていましたが、利用者様が園で行われる行事に出かけることは初めてです。

急に決まった外出でしたが、参加の希望を募ったところ、18名もの方が行かれることになりました。

最初は車の中から様子を見ていただくという予定だったのですが、かわいい園児さんたちの姿を見つけるとほとんどの利用者様が〝降りたい!!〟。「車椅子持ってきてないけど…？」「介助しながらいていただきましょう」…というわけでその後、くじやボーリング、ヨーヨー釣りなどのゲームに参加され、会場は賑やかな笑いに包まれていました。

あらためてこどもの持っているパワーを感じ、何より利用者様の輝くような笑顔に、少々予定外で疲れた職員も癒される思いでした。

平成20年度 第一回 瑞雲荘家族会

9月15日、敬老の日に平成20年度第一回、瑞雲荘家族会が行われました。お忙しい中、たくさんのご家族にお集まりいただきありがとうございました。

施設側より昨年度の収支状況及び今年度の収支経過報告、入所者概況や待機状況、取組み、施設における一日の流れ等を説明しました。その後、建替えについての基本的な方針や現在までの自治体等との話し合いにおける経過報告を行った上で、ご家族からの要望やご意見を伺いました。会議の席でご提案等も頂きましたが、別途建替えを含めたアンケートにもご協力いただきました。集計結果を今後の瑞雲荘の運営における参考にさせていただきたいと考えています。

家族会終了後、大田地区のボランティアグループ〝なかよしクラブ〟のみなさんの寸劇等を利用者様に観覧頂き、長寿のお祝いをしました。

編集後記

▼一度スポーツ新聞のような紙面を組みたくて今回のようなデザインになりました。いつも写真を大きく載せたいと思いながらも、どうしても言葉で伝えることの方が多く、何か良い方法をと…考えているうちに出てきたアイディアがこの方法でした。▼それにしても…「ひまわり」としての瑞雲荘盆踊りは開催できるかどうかが二年続けて微妙な状況でした。▼雨が降っている間は電気関係の準備ができなくて…開始時間も昨年より早めたためギリギリの状態でした。▼何はともあれ無事開催できたのは良かったなとホッとしています。今後も利用者様をはじめ地域の方にも喜んでいただけるように開催していきたいと思っています。▼また、8月の後半から9月の前半まで各施設で行事がたくさん行われました。今号でお伝えできなかった内容は次号でお知らせしたいと思います。　藤本

各施設の行事報告

きつきの里　デイサービスセンター

ドライブ

8月23～26日、約3ヶ月ぶりとなるドライブに出かけました。夏真っ盛りの暑い中でしたが、多くの利用者様が参加してくださり、「国東サイクリングロード」に向けて出発しました。

国東方面へ向かう途中には、青い海を目にして夏を感じられたようです。車内では、会話が弾み、にぎやかなドライブとなり、暑さに負けない利用者様に元気を分けて頂いたのでした。帰りは、すこ～し遠回りをして、山道を通りました。山の緑と、田んぼの緑が鮮やかでした。「久しぶりにこの辺を通ったよ。」「あじさいの時期はこの道キレイなんよ～」と、いろんな思い出話を聞かせて頂き、笑顔いっぱいの時間を嬉しく思いました。また、たくさんのお話を聞かせて下さいね。

敬老御膳

今月は敬老の日にちなんで、「敬老御膳」をお出ししました。いつもの器とは違い豪華なお弁当箱に利用者様も期待が膨らみ、目の前でふたを開けると「わぁ～！」誰もがこの一言。ふたを開ける私も楽しくてたまりませんでした。お刺身・お赤飯・飾り寿司などのごちそうに加え、もう一つの楽しみとして、お好みで「ビール」か「ジュース」を選んでいただきました。嬉しそうに小声で「ビール」とおっしゃる笑顔がとてもよかったです。乾杯のご発声は皆さんのご推薦で代表の利用者様にお願いをしました。久しぶりにビールを口にし、顔が真っ赤になった利用者様もいらっしゃいました。

敬老会

9月15日、「敬老会」を行いました。練習不足ではありましたが、職員の気合だけは十分！まずは、プロの劇団も顔負け!?のメイクと衣装で、本格的ながらも、な・ぜ・か？笑いがこみ上げてくる踊りで始まりました。次の「カラオケ」では、スペシャルゲストの素晴らしい歌声に心を奪われ、拍手喝采!!また、当日急なお願いにもかかわらず、快く歌ってくださった皆様方、ありがとうございました。続いて「二人羽織り」ではまたまたスペシャルなメニューを用意して、スパゲッティーに、生クリームたっぷりのケーキを「さぁ～召し上がれ！」二人の意気もピッタリ!?顔一面に、ケチャップやら生クリームやら・・・そんな姿に、顔をくしゃくしゃに大笑い！そして、初披露の「千手観音」きらびやかな指先と、華麗な動きに皆さん釘付けでした。あまりの好評に、年末のお楽しみ会では更なる進化を約束してしまいました。「コント」では、名コンビの二人がフロアー中を笑いの渦に。最後は職員全員でひまわりのハッピに身を包み、「好きになった人」の歌に合わせ、元気一杯の踊りで幕を閉じました。「よかったで～楽しかったわぁ～」「笑いすぎてお腹がすいた～」「職員で劇団開けるで～」などなど、心温まるお言葉をたくさんいただきました。

朝夕、ずいぶん涼しくなりましたが、まだまだ日中との気温差があり、衣替えまではあと少しといった感じですね。

（岩本・前田）

各施設の行事報告

三楽園　デイサービスセンター

三楽園の長月（９月）

夜長月（よながつき）の略。「秋の夜長のこと」という意。

秋には「お月見・中秋の名月」といった雑節・行事があり、空気がとても澄んでいて、四季の中でも最も美しいと言われています。また、秋は味覚の季節でもあり、食べ物が美味しい時期でもありますので、しっかりと栄養を摂取して下さいね！

夏の風物詩…スイカ割り　8月18日

猛暑が続き厳しい夏でしたが、皆様、お変わり有りませんか？秋風を待ち侘びていますが未だ程遠い様です。

さて、夏の思い出づくりに…ということで、レクリエーション活動にスイカ割りを取り入れました。利用者の方々も大喜び！幼少の頃を思い出しながらはしゃぐ姿を見る事ができました。

敬老の日　9月15日

今年も例年通り、昼食はオリジナルの膳や、趣向を凝らした出し物、景品つきのゲームをして盛大な雰囲気の中、楽しい一時を過ごしました。

残暑がまだまだ厳しい状況ですが、お身体には十分気をつけて御自愛下さい。

（下岡）

瑞雲荘

避難訓練・バイキング　8月21日

風が気持ちよく感じるよい天気のこの日は午前中に避難訓練、お昼はバイキングが行なわれました。

10時30分、『警備員室より出火しました』との放送で避難訓練がスタート。お茶を飲まれていた方も、コップをそのままに職員に付き添われながら玄関口へ集合し、7分で集合完了。玄関の外に避難した時、あまりに気持が良かったのか「まだ入りとねぇ、ここにおりてぇわぁ」と言われている方もいらっしゃいました。

その後、バイキングの準備が職員によって進められ、大皿に乗ったいろいろな料理が出てくると、視線で追いながら嬉しそうにされておりました。一番歓声が上がったのが、スイカやパイナップルをくりぬいて中にフルーツポンチが入った大皿。スイカがとても大きくて、みなさん「すごいなぁ、うまくしちょるなぁ」としきりに感心しておりました。

当日は行事が重なり、職員はてんてこ舞いだったと思いますが、利用者様にとっては、楽しい一日になったのではないかと思います。

暑さも和らいでいい季節になったら外に出て自然を見ながらお茶を…なんていいのではないかと思いました。

（山田・一丸・大江）